

## 課題名：手術支援AIによる臨床現場の課題に対する改善効果の定量化・経済価値分析

代表機関：アナウト株式会社

分担機関：大阪大学、金沢大学、大阪警察病院、東京科学大学、がん研有明病院

全研究開発期間：2025/11/13～ 2026/3/31

### 研究の背景・目的：

- 経営的エビデンスの必要性：SaMD普及には、病院経営改善への貢献（経済合理性）を示す客観的エビデンスが不可欠となっている。
- 外科医療の現場課題解決：手術支援AI「Eureka α」による「効率化・省力化」の効果を定量化し、赤字経営や働き方改革に直面する病院に遡及できるような汎用的な導入インセンティブを構築する。

### 事業達成状況および成果：

- 実証結果：EUREKA αが医療現場で安全に使用できることが確認された。また、本品を使用することで胃癌・大腸癌手術において手術時間の短縮につながる可能性が示唆された。
- 教育・指導の効率化：AIが「視覚的な共通言語」となり、指導介入時間の短縮効果が示唆された。指導医の時間を創出し、高度人材の最適配置可能性を見出した。

### 研究の将来展望：

- ROIに基づく社会実装：実証された定量データ（投資対効果）を基に、経営層の投資判断を支援し、SaMDの社会実装を加速させる。
- グローバル展開と基盤強化：保険償還に依存しない「エビデンス駆動型モデル」を確立し、日本発AI技術の国際競争力向上と持続可能な医療体制の維持に貢献する。

## 概要イメージ

製品の名称	外科手術視覚支援プログラムEureka α
薬事承認番号	30600BZX00061000
医療機器クラス分類	クラスII

